

散

歩

だ

よ

り

No.

94

2016.9.3 発行

編集・発行 市民自治こがねい

184-0012 小金井市中町 4-17-11-1F

Tel 042-316-1511 Fax 042-380-8271



だれもが共に暮らせる小金井をめざそう！ ～みんなが集える市庁舎がほしい

現在、庁舎問題は怎么样了のでしょうか。

5月23日の臨時議会で、西岡市長は6施設複合化の計画を、4施設（本庁舎・第2庁舎・本町暫定庁舎・福社会館）複合化案とする考えを示しました。継続して設置されている、市庁舎を含む6施設複合化の市長公約を検証する庁内プロジェクトチーム（PT）は、6月22日の全員協議会で中間報告を行いました。しかし議会から「協議するに足りる資料がない」との指摘があり、協議会は休憩に。

議会では中間報告をどのように扱うかを検討・調整。再開後の協議会で議長は「協議続行は困難。要求のあった資料（庁舎建設のスケジュール、財政計画、本町暫定庁舎用地への建設案とジャンメ工場跡地への建設案の比較考量）は対応を検討協議する」と発言し、質疑半ばで閉会しました。

その後市長は、中間報告にある複合整備案を進めるための補正予算案を取り下げました。庁舎と福社会館建設の市民検討委員会設置の経費も含まれていなかったため、市民参加もストップしたままです。

8月31日、PT から市長への最終報告が提出され、全員協議会で議会にも説明がありました。9月7日には各会派から意見要望が述べられ、9月20日に市長方針が出される予定です。4施設（実質は2機能）複合化は現実的な考え方であり、本来は5月の時点でPTは解散し、新たなPTを立ち上げるなど、庁舎建設を早急に進めるのであれば、速やかな行動が必要ではなかったでしょうか。

5月から7月にかけて、会派視察で掛川市と犬山市の庁舎を、総務企画委員会では喜多方市の庁舎を視察しました。いずれも建設費を押さえ工期を短縮、



上：犬山城をイメージした犬山市庁舎。
中：お茶の段々畑がイメージされた掛川市庁舎内部。
下：掛川市庁舎の円形議場。

環境と福祉に配慮したコンパクトな庁舎です。

社会福祉協議会は北大通り沿いの民間事務所に引越し、福社会館の中は空っぽになりました。庁舎と福社会館を複合化する場合、福祉行政をどのように組み直していくのかも問われます。

相模原の障がい者施設で大量殺人事件が起こってしまいました。私たちは今こそ、だれもが共に暮らせる町にしよう、そのシンボルとしても、福祉行政を前面に押し出した市民のための庁舎をつくろう、という声をあげていきませんか？

（片山かおる 市議会議員）

■参議院選挙（2016・7・10）

自公など改憲政党3分の2 一人区で野党共闘、健闘

改憲4党（自・公・お維・こころ）が77議席を獲得、非改選議席も含め3分の2を超え、衆参で憲法改正の発議権を確保するという、戦後71年初めての事態となりました。

一方で、32ある一人区すべてで野党4党の共闘が実現、11選挙区で野党共闘が勝利したことに注目したいと思います。深刻な矛盾が深まる沖縄、福島では現職大臣を破っての勝利でした。勝利した小選挙区では、前回の野党4党の得票数の足し算より2割増、市民が主体的にかかわった成果です。

小金井の健闘ぶりがかがえる 参議院選 比例区得票率



市民自治こがねいの推薦候補の結果

比例区の大河原まさこさんは、小金井での票は1,325票、全国でトップの得票率でした。しかし、全国の票は71,398票で、当選ラインには届きませんでした。

比例区の福島みずほさんは、小金井での福島票は578票。全国では254,956票。社民党は1議席を確保し、福島さんが当選を果たしました。

東京選挙区では「女性と人権」のグループが擁立した佐藤かおりさん（無所属）を推薦。4月末の出馬表明、知名度無しはやはり厳しいものがありました。小金井では941票（11位）、東京全体でトップの得票率でしたが、当選ラインには遠く及びませんでした。

暑い夏 ふたつの選挙 参議院選挙、そして都知事選挙



参議院選 佐藤かおりさんを応援して

5月下旬、小金井で佐藤かおりさんと話す会があり参加した。そこで佐藤さんが、セクハラ労災行政訴訟を起こし、12年かけて（スゴイ！）労災認定を勝ち取ったこと、働く女性のための労働組合を立ち上げたこと、性暴力被害者支援の現場に関わってきたということを知った。更に政策の中に「性的指向や性自認による差別を禁止する法律をつくろう」が入っているのを見て、この人を応援しようと思った。国会には人権意識を持った女性議員が沢山必要だ！！今少なすぎる。

小金井駅頭に佐藤さんが街宣で来た時には、数多くの市民が佐藤さんを支援する熱い思いを語った。残念な結果になったが、「女性と人権」をテーマにした佐藤さんの国政へのチャレンジは大いに意義があった。今後につなげていきましょう。



若林苗子（桜町）

参院選・都知事選 仲間と駆け抜けた夏

私たち市民が参議院選・都知事選で得たものは計り知れなく大きい。小金井だけではなく都内に住む様々な仲間と繋がり、主体的に選挙を作り上げた。手作りのプラカード、カラフルなバルーン。

一連の選挙運動を通じ、少なくとも何十人かには「選挙」や「政治」が自分ごとになったのなら、私たちの活動を目にした誰かの心に民主主義の種が蒔けていたら、それは将来の勝利への切符ではないだろうか。私たちは、確かに改憲勢力に躍進を許してしまった。危機的な状況にあると思う。しかし、皆さんと確かめたいー「勝つ方法は、あきらめないこと」。この沖縄の闘いの合言葉を胸に、この夏私たちが勝ち取った「市民の選挙、市民の政治」をさらに広げていこう。

小林倫子（本町）

■東京都知事選挙（2016・7・31）

小池候補の圧勝、市民自治こがねいが推薦した鳥越候補は完敗でした。野党4党推薦の鳥越候補は直前の参議院選挙での4党の比例票 2,483,450 票の 54.2%しか獲得できませんでした。

小池 2,912,628 (44.49%)
増田 1,793,453 (27.40%)
鳥越 1,346,103 (20.56%)

小金井での3候補

小池 25,106 (41.32%)
増田 16,200 (26.66%)
鳥越 15,090 (24.84%)

直前の参議院選挙での野党4党は 26,537 票、鳥越票はその 56.86%です。全都と比べ小金井は 2.5 ポイント上回りました。

小金井市での小池票は、東京都全体と比べ3%低く、鳥越票は逆に4%高く、全都でトップ5にランクされます。投票率も全都の 59.73%に対し小金井は 62.21%、小金井の健闘ぶりがうかがえます。

小金井版 鳥越選挙ドキュメント

小金井の動きは極めて素早いものでした。出馬表明の翌日13日には「鳥越支援サポーターズin小金井」が発足、その夜にHP、FBを開設、発信と行動を始めました。市民自治こがねい・生活者ネット・民進党・共産党は13日には会合を持ち、協力して鳥越支援を進めることを確認、ポスター貼りの分担、街宣計画を決めました。「サポーターズ」と政党、政治団体は、選挙期間を通じスタンディング（なんと1日3回）、全戸配布、個人演説会などを展開していきました。選挙戦終盤、突如決まった29日の武蔵小金井駅前での鳥越候補街頭演説会。小金井らしさを発揮、1,500名が駅前を埋めました。最終日、「サポーターズ」のスタンディングは23時59分59秒まで続けました。

これから

市民自治こがねいは、国のかたちや地域のあり方が大きく変わろうとしている今日、これからも選挙という市民の意思表示の最大のチャンスにきちんと向き合い、臨んでいきたいと思います。



市民が関わり新たな枠組みで社会を変えよう！

あまりにも突然の都知事選。参議院選終了後すぐで、市民から候補者を擁立する暇もなかった。野党で共同候補を立てるという報道に、無所属を中心とした自治体議員で相談し、共同候補を求める声明を各政党に提出した。鳥越俊太郎さんに決まっからは「応援する自治体議員の会」として、最終的に85人の超党派の自治体議員が集まり、2日ごとに会議、推薦を出して、政策提言をした。各地域では市民や政党と連携してチラシまき、ポスター貼り、街宣、電話かけ、集会。

選挙終了後、鳥越選対に対し選挙総括を求める要望を4野党に提出。自治体議員の会主催の都知事選を考えるシンポジウムの開催を検討中。次の都知事選や大きな課題に立ち向かうため、新たなつながりを活かし、政党と連携しながらも市民が主体となれる選挙をつくっていききたい。

(片山かおる 市議会議員)

都政を変えるには保守系候補を当選させるわけにはいかないから、立候補してくれた鳥越さんを応援することは自明の理。でも、彼の言葉や話し方に接するにつけ大丈夫だろうかと不安がふくらんだ。だから、現場の声を丁寧に聞くことから都政を組み立てるというポリシーにすぎないようにして自分と折り合いをつけポスティングし電話かけをした。なのに、あの選挙後のハフィントンポストのインタビュー記事。「ペンの力って今だめじゃん。だから選挙で訴えた」「選対に言われるままに動いた」「ネットはしょせん裏社会。信じていない」の発言に呆然。ちょっと無責任すぎない？本当なの？もやもやしている。鳥越さん、あなたが本当に思うことを支援者に語っていただけませんか？

関根幸恵（前原町）

「障害者」はなぜ殺されたのか

19名の命が奪われた相模原の障害者施設は山あいであり、150名余の重度障害者が暮らす大きな入所施設だ。障害者の自立生活が語られ、こうした施設も小規模化して家族や人々が暮らす地域の中に点在するべきと言われるようになる以前、全国各地の人里離れたところに重度障害児・者のための大型入所施設があった。

19人は実名もその人となりも公にされることなく静かに忘れ去られようとしている。障害者は二度殺される。一度目は残虐な加害者によって、二度目はこの社会によって。地域社会から隔離された施設の中で起きた今回の事件から「障害児・者が地域で生きていく」という事を、社会はそして私たちはもっと身近な課題として真剣に取り組んでいかなければいけないと思う。私には軽度の知的障害のある娘がいる。私は今娘に「あなたには障害がある。でも臆することなく胸を張って生きなさい。」と伝えることをためらっている。いずれこの事件を知った娘は私にこう問いかけるかもしれない。「私は生きていていいの?」と。

磯辺美希（中町）

イベントのお知らせ

10/10(日) 緑・市民自治こがねい
オープンミーティング

10:00~12:00 カエルハウスにて

10/15(土)~10/16(日)「なかよし市民まつり」に
エコクラブが出店

*例年とは出店場所が異なります。詳細は後日。

*バザー品募集! 10/10(日) 10:00~16:00 の間に
カエルハウスにお持ち込みください。

11/5(土)~11/6(日)「武蔵野はらっぱまつり」に
カエルハウスが出店

11/26(土) 塚本晋也監督「野火」上映

19:00~ 市民交流センター大ホールにて

主催: <戦争と平和>連続上映会

8月28日の集い

「私たちは共に生きる社会をつくりたい」報告

7月、相模原の障がい者施設で起こった大量殺傷事件に衝撃を受けた方は少なくないと思います。



“顔を合わせて語り合う機会を”という想いで設けた場には20名以上が集まりました。

なぜ障がい者入所施設が人里離れたところにあるのか、障がいのある方が実際に受けた差別的な対応、学校で障がいのある児童への対応、加害者のこと、報道のあり方。意見はいろいろ出たけれど、一人ひとりが事件を自分に引き寄せて考えていて、どのように受け止めたら良いか思い悩んでいるということ。

参加者がフラットに意見を言い合える、こういった場に「誰もが共に生きて生ける社会」のヒントがあるのかもしれない。(坂井えつ子 市議会議員)

「市民自治こがねい」は

わたしたち市民の力で小金井市を変えたい!
市民の想いや考えを
福祉やまちづくりに生かしたい!
人権が尊重され、自治が息づく
小金井市にしたい!

そんな考えの市民が集まり
片山かおるさんと坂井えつ子さんを
市議会に送り出し
小金井のさまざまな問題を話し合っています。

どなたでもお気軽にご参加ください。

※詳しくはホームページをご覧ください。
<http://www.sijiko.com/>

★会員になってください★
会費 1口=3000円/年(できれば2口以上)
・賛助会費 1口=1万円/年
・ニュースカンパ 1口=1000円/年
・郵便振替 00130-6-352041

編集後記 暑い夏が終わり、大型台風が去って、気がつく秋の気配。

8月31日、小金井では「6施設複合化」についての報告、東京都では小池新知事が「豊洲移転延期」の記者会見。

市政も都政も目が離せない。来年3月は市議選、6月都議選がやってくる。(J)